

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業のうち地域の 生産体制強化・需要創出事業に関する事業の公募について

令和 元年 5月 15日
ぐんまシルク開発協議会

ぐんまシルク開発協議会では、2019年度国の「地域の生産体制強化・需要創出事業」により、絹の実需者ニーズの把握や実需者と連携した商品開発を行います。

実需者と連携した商品開発については、群馬県の特産品である繭・生糸の生産拡大や蚕糸・絹業の収益性向上に資するため、川上・川下の連携により、新規性の高い商品の開発に必要な試作を行うものです。

本事業の一環として実施する下記事業については、公募により実施することとしましたので、希望する方は5月22日(水)までにあらかじめ連絡するとともに、5月24日(金)までに、別紙1(応募書)および別紙2(事業実施計画書)を提出してください。

記

1 事業の目的

近年の温暖化の進行を背景に、さわやかな着心地、涼しさの演出といったことから、単衣の着物の需要が高まる傾向が見える。これに本格的に対応するためには、シャリ感、清涼感のある新しい絹の着物素材を開拓する必要がある。

一方、群馬県の蚕糸業振興のためには、ぐんまオリジナル蚕品種の活用が必要である。そこで、ぐんまオリジナル蚕品種を原料とし、製糸、撚糸、精練、織等の最適な組合せを見だし、画期的な単衣着物用の素材を開発する。

2 事業内容について

別紙公募事業の概要

【本事業に対する問い合わせ先】

ぐんまシルク開発協議会（碓氷製糸株式会社内）

田中 誠、狩野寿作

電話：027-393-1101

携帯：080-1195-7551

別 紙（公募事業の概要）

公募事業の名称： ぐんまオリジナル蚕品種を原料とした画期的な新しい
単衣きもの用絹素材開発業務

1 開発業務の内容

- (1) 原料生糸は、ぐんまオリジナル蚕品種から生産された生糸とし、ぐんまシルク開発協議会が提供する生糸を使用すること。
- (2) 絹素材は、1種類10反程度、5種類以上開発し、比較検討を行い、最適解を得ること。
- (3) 絹素材は、A反着尺とし、寸法は13m×38cmの仕上がりとする。
- (4) 絹素材の比較検討に当たっては、客観性を確保するために第三者の意見を聞く機会を設けること。
- (5) 開発された絹素材（白生地）の品質を確認するためのモニタリングを行うこと。

2 委託事業の実施期間：契約の日から令和元年11月末日

3 事業概算希望額 1,000,000円
(上記金額は最大金額であり、事業実施に当たっては事業計画書を基に、協議の上決定します。)

4 確認、検査

開発された絹素材について、ぐんまシルク開発協議会が確認・検査を行なうものとする。

5 協議

本書に明記なき事項及び疑義が生じた場合には、その都度協議するものとする。

別紙1（応募書）

番 号
年 月 日

ぐんまシルク開発協議会
会長 高木 賢 様

（応募者）

住 所：

名 称：

代表者：

「ぐんまオリジナル蚕品種を原料とした画期的な新しい
単衣きもの用絹素材開発業務」応募書

1 応募事業の取組みの概要

2 蚕糸業及び絹業に対する知見及びこれまでの経験・取り組み実績

3 その他本業務を執行する上での特記事項

別紙2（計画書様式）

番 号
年 月 日

ぐんまシルク開発協議会
会長 高木 賢 様

（応募者）

住 所：

名 称：

代表者：

「ぐんまオリジナル蚕品種を原料とした画期的な新しい
単衣きもの用絹素材開発業務」実施計画書

1 委託事業の概要

（1）事業の実施

（2）事業の内容

2 事業経費の積算

区分	規格	数量	単位	単価	金額	備考

※税込み金額を記載する

3 添付資料

- (1) 応募団体の概要（組合等の場合は、規約及び構成者）
- (2) 見積書または事業費積算資料
- (3) その他ぐんまシルク開発協議会が必要とする資料